

老齢年金受給者実態調査票

(平成19年11月1日現在)

厚生労働省年金局

秘

お答えは、の中には数字で記入し、その他はあてはまるものの番号を○印で囲んでください。

調査票の記入が終わりましたら、同封の封筒に入れて 12月10日までに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)

あなたご自身についてお尋ねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。○印をつけてください。
1 男 2 女

問2 あなたの生年月日を書いてください。(元号には、○印をつけてください。)
1 明治 2 大正 年 月 日生
3 昭和

あなたの世帯についてお尋ねします。

問3 1) あなたの世帯は、あなたを含めて何人ですか。(生計が別でも同居していれば含めてください。) 人
2) あなたの世帯であなた以外の方全員に○印をつけてください。
1 配偶者 2 子または子の配偶者
3 父または母 4 その他

問4 1) あなたの世帯には、あなたも含めて収入のある仕事をしている方は何人いますか。(いないときは0と記入してください。) 人
2) 収入のある仕事をしている方全員に○印をつけてください。
1 あなた自身 2 配偶者 3 子または子の配偶者
4 父または母 5 その他

あなたとあなたの配偶者(妻または夫)についてお尋ねします。(配偶者がいない場合は、あなたの分だけを書いてください。)

問5 あなたに配偶者がいる場合は、その方の生年月日と基礎年金番号を書いてください。(元号には○印をつけてください。)
1 明治 2 大正 年 月 日生
3 昭和 4 平成
基礎年金番号 -

問6 現在のあなたとあなたの配偶者の仕事は、次のどれにあてはまりますか。該当箇所に○印をつけてください。

		あなた	あなたの配偶者
1. 常時雇われている者	正社員、公務員等	1	1
2.	パート	2	2
3. 臨時に雇われている者、日々雇われている者、アルバイト		3	3
4. 自営業主(農家を含む。)またはその家族従事者		4	4
5. 収入のある仕事はしていない(専業主婦等)		5	5

問7 あなた、または、あなたの配偶者が収入のある仕事をしている場合、その理由は次のどれにあてはまりますか。該当箇所に○印をつけてください。

	あなた	あなたの配偶者
1. 生活にどうしても必要だから	1	1
2. 生活の足しになるから	2	2
3. 生きがい、社会参加、健康保持のため	3	3
4. その他	4	4

問8 あなたとあなたの配偶者の20歳から60歳までの間での主な仕事は何でしたか。1から5の中で中心となる仕事(おおむね20年間を超えて従事していたもの)に○印をつけてください。1から5のどれにも20年間以上該当しない場合は、6の該当箇所に○印をつけてください。

		あなた	あなたの 配偶者
1. 常時雇われていた	正社員、公務員等	1	1
2.	パート	2	2
3. 臨時に雇われていた、日々雇われていた、アルバイト		3	3
4. 自営業主(農家を含む。)またはその家族従事者		4	4
5. 収入を伴う仕事をしていなかった(専業主婦等)		5	5
6. 1～5のどれにも20年間以上は該当しない		6	6

問9 次にあげる項目について、現時点から過去1年間の収入は、いくらぐらいでしたか。(おおよそで結構です。)あなたとあなたの配偶者について、それぞれ書いてください。(注: 「収入」とは必要経費を除く事業収入、勤務先からの税込み収入などを指します。ただし、退職金などの臨時的な高額収入については除いてください。)

あなた あなたの配偶者

1) 働いて得た収入 万円 万円

2) 国民年金、厚生年金 万円 万円

3) 国家公務員共済組合、地方公務員共済組合、日本私立学校振興・共済事業団の年金、恩給 万円 万円

4) その他(企業年金、個人年金、家賃収入、利子・配当、子供などからの仕送り等を含む。) 万円 万円

問10 あなたとあなたの配偶者の、1か月平均の支出はあわせていくらぐらいでしたか。(おおよそで結構です。ただし、乗用車・住宅を購入したなどの臨時的な高額支出については除いてください。)総支出については、金額を書いてください。その内訳の項目については、該当箇所に○印をつけてください。

総支出 万円

	なし	5万円未満	10万円未満	15万円未満	20万円未満	25万円未満	30万円未満	35万円未満	35万円以上
衣食住(光熱費、電話代等を含む)	0	1	2	3	4	5	6	7	8

	なし	1万円未満	2万円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	6万円未満	7万円未満	8万円未満	9万円未満	10万円未満	10万円以上
趣味、娯楽	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
交際費	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ローン等支払い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
預貯金	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
医療・介護の自己負担	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
税・社会保険料	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問11 1) あなたとあなたの配偶者の現在の貯蓄額は、あわせていくらぐらいですか。貯蓄とは、預貯金、株式、掛け捨てでない生命保険などをいいます。該当箇所に○印をつけてください。

	なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000～3,000万円未満	3,000万円以上
貯蓄額	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

2) あなた名義またはあなたの配偶者名義の不動産をお持ちですか。○印をつけてください。

1 持っている 2 持っていない

問12 あなたは、老後の生活設計における公的年金の役割について、どのようにお考えですか。当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- 公的年金だけでゆとりある老後の生活が送れるようにするべきである。
- 公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべきである。
- 後世代の負担により成り立つ公的年金は最小限とし、企業年金や個人貯蓄等を中心とするべきである。
- 公的年金ではなく、家族内の経済的な助け合いを中心とすべきである。
- その他 ()

最後に、お送りした封筒の「あて名シール」の上に印刷してある「整理番号」と下の整理番号とが一致していることを確認してください。(もし、一致していない場合には「あて名シール」の「整理番号」に訂正してください。)

整理番号

ご協力ありがとうございました。